

マワケラーニングセンターの 近況 (2015年3月現在)



カパティ 旅行担当: 長曾 崇

マワケラーニングセンターとは

正式名称は、ST. THERESE of The Child Jesus Learning Centerです。現在は、運営責任者のアグネスさんと先生のロシータさんの2名で運営しています。その他運営のサポートとして、保護者の方がボランティアで関わっています。

現状はキンダークラス(5-6歳)、プレキンダークラス(3-4歳)の2クラスがあります。人数はそれぞれ20数名で、全体としては、40数名といったところです。

基本的な位置づけとしては、「プレスクール」となります。日本でいうと、幼稚園というよりも、小学校の授業に近いイメージです。

アグネスさんとロシータ先生は学習と規律を重んじて子どもたちに関わっています。アグネスさんによると、マワケラーニングセンター出身の子どもたちは、積極性的に授業や学校活動に関わり、よく勉強もするとのことで、各小学校からの評判も高いようです。

子どもたちの過ごし方のイメージ

1. 来た子どもから黒板に書いてある文章(主に英語の学習のため)を自分のノートに書き写します。
2. ロシータ先生がやってきて、みなで朝の挨拶をします。
3. みんなで立ち上がって国家斉唱をします。
4. その日の科目の授業がはじまります。
 - たとえば、英語、算数、環境(理科と道徳のコンビネーションのイメージ)などがあります。
5. 授業は先生と子どもたちの掛け合いで進んでいきます。個人ワークやグループワークも織り交ぜながら、子どもひきつけ、丁寧にフォローしながら進めています。
6. そして、みなでダンスをしたり、歌をうたったりもします。
7. 最後におやつタイムがあって終了します。

子どもたちの授業の様子



子どもたちの目線に立ったわかりやすく丁寧な教え方が素晴らしいロシータ先生



授業終了後、先生から「エクセレント」のスタンプを押してもらい、喜ぶ子どもたち

アグネスさんの様子

2015年3月、スタディツアーの引率でマワケを訪れ、運営責任者のアグネスさんと1年ぶりに再会をいたしました。病気のため手術を受けたとのことですが、その後、カパティからの支援をもとに、継続的な治療を受けることができたおかげで、徐々に回復に向かっているとのことでした。

アグネスさんの存在あつてのラーニングセンターですので、カパティとして、引き続き、彼女の様子をうかがいながら、無理なく過ごせるようなサポートをしていくことが大切だと思いました。

